

軍事秘

昭和二十五年一月

陸軍省編纂部

自一月三日
至一月四日

戰鬥詳報

218940

機関砲第三百三十六號

進達區分

進達先	整理番部	部数
第三十二軍司令官	第一師(第三師)	二
野高司	第三師	一

- 一 敵未襲前ニ於ケル彼我形勢ノ概要
 - 二 部隊ノ行動ニ影響ヲ及ボスル氣象地形ノ
 - 三 彼我機ニ兵力敵ノ編成裝備素質及戰法
 - 四 各時機ニ於ケル經過關係部隊ノ動作及連絡
 - 五 戰後ニ於ケル彼我形勢ノ概要
 - 六 將參考ト成ルヘキ事項
 - 七 其他
 - 八 附表
- 陣地配備(通信網圖要圖)
- 戰斗經過要圖
- 諸元一覽表
- 人員損喪一覽表

陽光機三機侵入、我諸機ヲ警戒セシメテ全圖タルモノ、如シ
一四日、敵小隊風向北、高約三〇〇メートル、午後三時、敵機
大より霧状に海上ヲ覆ヒ、海軍艦艇ヲ警戒シ、終始偵察ニテ飛行セルモ、
如クシテ攻撃開始ニ至リテ、偵察機三機ヲ以テ我対空兵器ノ死角内ニシテ、
ヨリ受クル損害ヲ極力防シ、全圖タルモノ、如シ
陣地附近、地形ハ西ノ約百メートル、海軍艦艇ノ一部ヲ隠サシメ、
偵察機野原ニシテ、且、那覇港ヲ放列陣地、距離ハ最小四百米、最大約八百
百メートル、大隊本部及各中隊ハ、陣地タル草地ヲ利用シ、対空ニ対シテ、偽
装ヲ完全ニスル、共、編隊飛行ニテ、損害ヲ極力限ラシメ、為基ヲ利用、機体
等ヲ構築スルカマルニ、偽装ハ連日ニテ、警戒機ニ徹底シ、戦時ニ於ケル陣地
強度ハ極完成セリ

三、彼我、兵、敵、編成、裝備、素質、及、戦法

一、四日、敵機襲撃時、我々方ハ、將校十四名、下士官四十名、兵二百十六名
主要兵器九ノ式高射機四機、一〇〇メートル以下高射機十機、
且兵器ハ、向、上、機、能、良、好、又、敵、機、ハ、高、度、ヲ、以、テ、飛、襲、セ、ル、為、我、高、射、機

関砲、如ク、低空機ヲ目標トスル部隊、於テハ、諸準備ニ相当餘裕アリ、我ニ有利ナ
ル莫ク、大隊編成及主要兵器別紙ノ如ク、敵ハ、三機ヲ主体トシ、二
機及機種不明双発一機ヲ加ヘル、七機、(近距離約廿五機)ヨリ成ルモノ、如ク、其
裝備セル兵器ハ、三機、三機、機関砲ニテ、銃撃、技術、相当優秀ナリ

敵ハ、先、二機ヲ以テ本島ニ空ニ先行、我々管制後、三機ハ、陽光ヲ
背ニ我々ヲ警戒シ、三機同時ニ小隊飛行場ヲ急降下襲撃シタル後、海軍
飛行場ニ波状襲撃ヲ散行スル、戦法ヲ取リタリ

一、四日、敵襲撃時、於ケル我々方、及、主要兵器ハ、前日ト同シ、部隊ノ志氣ハ
昨日ノ今日ナルヲ以テ、部隊女以テ、將兵前日倍加シテ、志氣旺盛、既ニ敵ヲ吞
ミ、ル、感、マ、リ、タリ

敵ハ、昨日ト若干其編成ヲ変更シ、三機ニシテ一編隊ヲシ、其裝
備セル兵器ハ、三機、三機、機関砲ニシテ、陣地附近ニ拾得セル三機、徹甲彈
三機、偵察機三機、敵、技術、昨日ト比シ、稍々劣リ、其感有リ、目標攻撃ニ當
リテ、超低空ニ移リ、以テ我々方ノ死角内ニ封セント、戦法ヲ取リタリ

四 各時機に於ける経過所部隊動向及連絡施設状況

一月三日大隊(一四〇)毎日、如く未獲スル。二対上休宿空襲間、於て是対
空監視、警戒、空襲の人員を配置し至嚴ナル警戒を任じ、ソノタル處一月
三日、八五〇機北より侵入南、南より那覇上空三未獲スルヲ本部対空監
視発見(直距離約一〇二千米)六隊共、直ニ空襲ヲ遂行シ、吹奏セシメ
戰意ヲ示シ、且通信連絡施設、別紙命令ヲ下達セリ又敵機數機、
命令ト共、高射砲第七九大隊ニ通報、隣接セル高射砲第七九大隊及小
隊飛行場附近、高射砲ハ射撃ヲ開始シ有効彈ヲ浴セルモ我カ高射砲開
砲、其効力圏外直距離三二米ナル為、発射出来ず唯照準ナル、ミロ九三〇
ガマン機編隊二四〇〇方向ヨリ陽光北有ニ高度一五〇〇ヨリ小隊飛
行場ニ急降下銃撃ヲ加スルモ、部隊カ、距離ハ一番近キ三中队ニ於テ、最短
三米九米等(高射砲開砲)有効彈ニ三米以内(發射出来ず唯照準ヲ續行スル
ミロ九三〇機)滿テ、由ニ難キモノアリ、九三七敵ハ四機、ミロ編隊ヲ以テ
同レク二四〇〇ガマン機ヲ背ニテ高度千三百ヨリ飛行場ニ急降下銃撃ヲ
加スルモ、部隊カ、同レク、由ニ難キモノアリ、九三七敵ハ四機、ミロ編隊ヲ以テ

同後南ニ飛去ス、後必四機高度約一〇〇〇〇以テ嘉手納以南ヲ一、二、三、
道地回偵察シ、後東方ヨリ南方ニ進走ス、一三三〇再ニ那覇上空ニ見
高度一〇〇〇以上一四二〇頃迄高度ヲ以テ沖繩本島上空ヲ拖回シタル後南
方脱去ス、一四二〇以降那覇港一帯附近ニ敵機影ヲ認め、又大隊警備地区
内ニ異徴ヲ認め、依リ大隊ハ命令第十七號ニ依リ警戒ヲ遂行シ、
行ハ敵ノ不意ヲ襲フニ、訓練、兵器彈藥、整備陣地、補強修裝ヲ再
美検等ヲ為シ、夜ニ入ル
一月四日、命令第十七號(別紙)ニ依リ、五三〇ヨリ警戒ヲ遂行申シ、戰備
轉移、至嚴ナル警戒ヲ為シ、ト共、不意ヲ襲フ降下超低空ニテ未獲ス
ル敵機、好スル訓練、兵器彈藥、整備陣地、補強修裝、徹底ヲテ、敵
機未獲ニ萬全ヲ期シ、ソノタル處、ワルニ大讀谷山村附近敵機、四機侵入、情
報アリ、大隊長ハ直ニ三戰士ヲ取ラシメ、ト共、通信連絡施設、別紙命令ヲ
下達セリ、又高射砲第七九大隊ニ通報ス、一四〇四該敵機ハ北飛行場ヲ攻撃、低
空ニ那覇ニ向テ、情報アリ、各中队ハ讀谷山方向ニ至嚴ナル監視ヲ為シ、ソノ

處一〇〇七東北方海上ヨリ第四隊陣地直前四〇〇米西南方高低等
以テ襲撃シテシラミシ機ヲ発見ス第一中隊此時第二第三中隊敵
機余リニ起テ空ナルヲ目標ヲ捕捉得ズ長直十二高低角最も高き敵機ヲ
目標トシ射令セルモ別方ニ其地射撃隊等トナリテ発射し得ズ此間第一中隊
第一分隊墓地間隙ヨリ一発射撃セルモ発射隊大発令中彈得ズ同時該
第二第三中隊モ該敵機ヲ発見セルモ高低角低ク第二中隊ノ全部前方を
夜リ死角ヲ生シマリル處波ノ上神社方ヨリ大隊本部上空ヲ大キク機体ヲ動
揺セシメテ第二中隊上空ヨリ那覇港入口ニ至リテトナリタル時該輸送艦
ヲ攻撃セル機アリ該敵機ノ好目標トシテ高低角ニテ高度六〇(角速度極メ
テ大ナル)第一中隊第一分隊ノ迅速ニテ発見セシメ捕捉一発射(三発)
射撃ノ命令中彈ヲ莫中央部附近ニ発白煙ヲ降下シ海二十米附近ニ飛
小隊飛行場方ヨリ脱去ス 第三中隊ハ積上式機体ナリト他陸地兵ノ稱
高低角ニテ一發果小隊分火ヲ果施シ小隊分火ノ一機ニ果中第一中隊ノ海上ノ
編隊ヲ第三中隊ノ陸地兵ノ一機ヲ射撃第二中隊ノ射撃セル敵機ハ陸地西
南方約十五米附近ヨリ南真ヨリ発火シテ高低角ニテ小隊方ヨリ機影ヲ没ス

機体着シテ動揺シテ小隊飛行場方ヨリ機影ヲ没ス
曉部隊平突部隊ノ兵右二機操縦者ヲ俘虏トスル目的ヲ以テ舟艇ニ
依リ近接セシ處該機ヨリ射撃ヲ受ケ尚該部隊右地兵ニ二機墜落セ
シヲ確認ス(交戦時間時々分ヨリ時々分三秒ノ三秒間トス)

五、戦半後ニ於ケル彼我形勢ノ概要

一月四日一〇二〇以降ハ那覇港一帯附近ニ敵機ヲ認め又大隊警備地区内ニ
異徴ヲ認めタル夜リ大隊ハ敵ノ不意襲撃ニ備ヘテ射撃訓練ヲ実施スルト
共ニ兵器彈藥ノ整備陸地ノ補強傳授ノ再兵檢等ヲ為シ次期戦力増
強ニ萬遺憾ナキヲ期セリ

六、將來ノ參考トナルハキ事項

- 一、二月三日戦半後於テ敵ハ先ニ以テ我ヲ牽制セシメ之ヲ誘導シ夜リ戰半機
ノ編隊ヲ陽光ヲ利用シテ目的地侵入スルハ爾後ノ対応態意我ヲ注意ヲ要ス
- 二、現在通信機材全然無キ為戰半指揮及テ指導ニ支障ヲ来シメタリ速ニ
整備ヲ要ス

三極度ノ超低空目標ニ対シテハ待撃固定射撃ニ依ルヲ可トス

七其ノ他

一月四日ノ戦ニ於テ最特異ナル現象ハ戦時時間僅ク三十秒前後ニシテ事前
通信連絡不良ナリテハ戦時ヲ得ザリトモト判断セラレ即チ讀谷地奥ヨリ那覇侵
入ノ敵機ノ行動ノ簡スル情報極メテ迅速ナリト爲之対スル事前ノ準備完璧ニ
シテ始メテ撃墜セシムルヲ得タリト思ヒ考セラレ

尚近距離ニテ極メテ角速度大ナル敵機ニ対シテハ固定阻止射撃ノ準備ノ必
要ナルヲ痛感ス

稲益中尉ノ指揮スル第三中隊機用砲六門(中隊女兵的砲)ノ指揮掌握
射撃指揮ニ依リ敵超低空目標ニ対シテ七十五発ノ小銃彈ノ一発射ヲ以テ克
敵ケラマンルニ機撃墜ノ戦果ヲ發揮セリ以テ大隊女兵賞詞ヲ與ハ



機関砲第一日三大隊命令

一月三日〇八五五
那覇本部

一〇八五五那覇上空ニB2P一機高度約七千米ヲ以テ来襲ス

(部隊対空監視発見)

二大隊八機ヲ二機ニ攻撃シ二機ヲ射撃機ノ戦備ノ完備ヲ期セントス

三本部及各隊八機ヲ二機ニ攻撃シ二機ヲ射撃機ノ戦備ノ完備ヲ期セントス

機関砲第一日大隊長 宇坂少佐

下達 警報後命令受領言ニ集メ口達筆記セシム

言ハ命ヲ奉ル

機関砲第百三大隊命令

一月三日一三〇部

一 其後新報ヲ得ル

二 大隊ハ警急ヲ察知シテ飛行機ニ對シテ續行セントス

三 本部及各隊ハ一一〇四警急ヲ察知シテ飛行機ニ對シテ

四 不意ニ機ニ對シテ敵機ニ對シテ警急ヲ察知ス

機関砲第百三大隊長 守坂少佐

下達シテ警急ヲ察知シテ命令受領者ヲ集メテ口達筆記セシム

手帳命百第拾五號

機関砲第百三大隊命令

一月三日一三四部

一 一三四四那霸上空ニ見ル

二 大隊ハ直ニ戦士ヲ執リテ轉移シテ對空戦備ヲ強化セントス

三 本部及各隊ハ直ニ戦士ヲ執リテ轉移ス

機関砲第百三大隊長 守坂少佐

下達シテ警急ヲ察知シテ命令受領者ヲ集メテ口達筆記セシム

芋坂命令第拾六号

機関砲第百三大隊命令

一月二日一四三〇
那覇本部

一 敵情ニ関シテハ其後新報ヲ得ス

二 大隊ノ警急ニ於テハニ移行スヘシ

三 本部又各隊ノ警急ニ於テハニ移行スヘシ

四 各隊ノ不意ニ襲スル敵機ニ対シ萬遺憾ナキヲ期スヘシ

機関砲第百三大隊長 芋坂少佐

下達法 要旨傳達後命令受領者ヲ集メテ口達筆記セム

機関砲第百三大隊命令

一月二日一五三〇
那覇本部

一 敵情ニ関シテハ新報ヲ得ス

二 大隊ノ警急ニ於テハニ移行セム

三 本部及各隊ノ一五三〇警急ニ於テハニ移行スヘシ

四 明朝ノ起床時ヨリ一〇〇〇迄警急ニ於テハニ移行シ不意ニ襲スル敵機ニ対シ萬遺憾ナキヲ期スヘシ

機関砲第百三大隊長 芋坂少佐

下達法 要旨傳達後命令受領者ヲ集メテ口達筆記セム

第百三十九號

機關砲第百三大隊命令

一月四日九三六
那霸本部

一〇九三大讀谷山村敵西機侵入

二大隊八直十二戰半姿勢ニ轉移并射撃準備ノ完成ヲ期セントス

三本部及各隊八直十二戰半姿勢ニ轉移スヘシ

機關砲第百三大隊長

芋坂少佐

下達後警報後命令受領者ヲ集入口達筆記マシム

古作

機關砲第百三大隊命令

一月四日一〇〇
那霸本部

一敵機ハ本島脱去ス二一〇〇空襲ノ警報解除マシム

二大隊八警急姿勢乙ニ移行し現在警報ヲ維持セントス

三本部及各隊八警急姿勢乙ニ移行スヘシ

四明朝起床時ヨリ一〇〇〇迄八警急姿勢甲ニ轉移し戰備ノ完成

ヲ期スヘシ

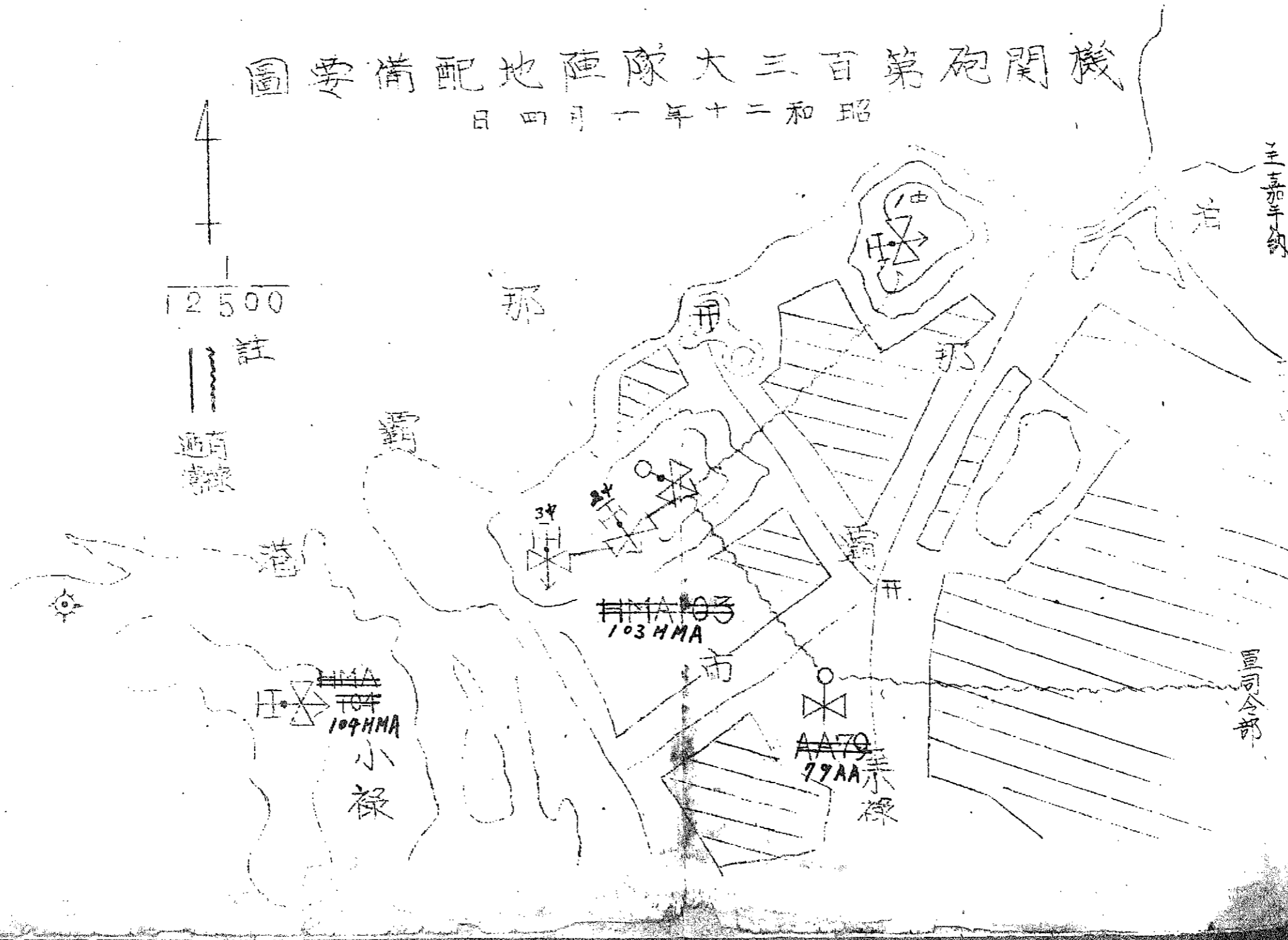
機關砲第百三大隊長

芋坂少佐

下達後要旨傳達後命令受領者ヲ集入口達筆記マシム

機関砲第三百大隊陣地配備要圖

昭和二十一年一月四日



附表三

備考	殘彈	使用彈數	擊墜數	機數	目標標(機種)	隊	高度	距離	航速	航路角	發射時期	諸元
	三四四(喜名隊)	六		一二機編隊	グンマン隊	一中隊	五〇	一五〇	一三〇	四〇〇	一〇〇〇	一中隊
	三四八()	三	一(擊破)	"	グンマン隊	二中隊	六〇	二〇〇	一三〇	三〇〇	一〇〇〇	二中隊
	二七五()	七	二	"	グンマン隊	三中隊	五〇及一〇〇	一五〇及二五〇	一三〇(一五〇各隊)	一四〇〇一五〇〇	一〇〇〇	三中隊

附表四

人員損害一覽表

區分		数	備考
將校	死	ナシ	軍用品其他ニモ損害全クナシ
	傷	重	
輕		ナシ	
下士官	死	ナシ	
	傷	重	
輕		ナシ	
兵	死	ナシ	
	傷	重	ナシ
輕		ナシ	

附表五

兵器機械損害一覽表

區分		員数	備考
火砲	使用不能	ナシ	
	一時使用不能	ナシ	
機砲	使用不能	ナシ	
	一時使用不能	ナシ	
観測具	使用不能	ナシ	
	一時使用不能	ナシ	

附表六

彈藥損耗一覽表

備考	現存數	損耗數	總數	區分
	1646	19	1665	衛甲白榴
	4614	65	4679	彈藥(機炮)

原駐地
 自備彈藥
 八七二〇
 三八二六
 三〇〇〇
 三〇〇〇

主要兵器一覽表

名	稱	數	量	名	稱	數	量
銃	九五式軍刀	一	二	銃	九八式高射機槍	一	八
器	增九式軍刀	三	三	具	觀九式測遠鏡	一	六
	三十年式短劍	三	〇		測九式測遠鏡	一	六
	九式短小銃	一	八		吳十三年式測遠鏡	一	二
	貸十四年式拳銃	一	一		九四式米奇爾測遠鏡	一	三
	渡九四式拳銃	三	七		十三年式雙眼鏡	一	八
	兵外國製拳銃	三	七				
	器						
	十四年式拳銃	四	六				
	九〇式喇叭	一	八				

藥

一、天...
同...
九、三...
九、三...
九、三...

一三四四七
五四九
一五三六
一〇〇〇

器

大九...
小...
鐵...
鐵...

一三
一三
一三

初年 兵編成表

二	木場健二	二	木定宜	森秀隆	内田照雄	内田勝寛	河野博夫	大井達次	大河山照雄	濁烟清義
二	押一勇	二	岡本喜一	永井利房	滝裕良	鳥入厚	納周造	真山恭三	中倉善助	藤本國廣
二	破山一芳	二	吉田清	分邊清	清瀬恵七	金久教好	白烟春吉	入院者	吉田賢二	二
二	西川甲子夫	上	桶口富久	萩原五天	上	吉	二	二	二	二

教善助手